

公安委員会定例会議(第32回)の開催状況

第1 日 時 令和3年12月22日(水)

午後1時30分 ～ 午後4時10分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長

刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長

総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員説示

今日は、製造業でよく使われる「変化点」について述べたいと思います。

現場において不良品が生じた場合、徹底した原因調査を行います。この不良品は、いわゆる4M(Man(人)、Machine(機械・設備)、Material(原材料・部品)、Method(方法))の変更時に生じることが多くあります。この変更を「変化点」と呼んでおり、変化点の管理を徹底することで、不良品を世の中に流通させるリスクを限りなく低減させることができます。

この変化点は、本当に些細なことである場合が多く、うっかり見逃したり、“これくらいのこと…”と軽視しがちなところも多々あります。しかし、この些細なことを放置すると高い確率で不良品が生じ、その不良品が流通すれば、あらゆる面で重大な結果となって跳ね返ってきます。そのため、私が常に心がけているのは、①些細なことでも察知できる感性を磨くこと、②変化点を迎えたとき何をすべきか常にイメージをしておくことの2点です。

この変化点管理は、製造業のみではなく、あらゆる職場で活かせる部分があると思いますので参考としてください。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和3年第31回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理について伺いがあり了承した。

(3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いが

あり了承した。

(4) 警察署協議会委員の解嘱申請

総務室から、警察署協議会委員の解嘱申請について伺いがあり了承した。

(5) 指定自動車教習所に関する報告

交通部から、指定自動車教習所に関する報告があり了承した。

(6) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果 23 件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和3年12月定例県議会の開催結果

総務室長から、11月26日(金)から12月14日(火)までの19日間開催された令和3年12月定例県議会の概要について報告があった。

委員から、「議会では、誤認逮捕等についての質問があったが、誤認逮捕の再発防止に向け、引き続き、適正な捜査を推進していただきたい」との発言があった。

(2) 第2回「ライフサポートセミナー」の実施結果

警務部長から、11月30日(火)に警察本部で開催され、3歳未満の子を持つ職員21人が参加した、第2回「ライフサポートセミナー(子育てパパ・ママ向け)」の概要(子育て支援制度及び子育て中の福利厚生制度の説明、グループ座談会、部外講師教養等)について報告があった。

委員から、「このセミナーのグループ座談会にも参加した。中には男性職員が主に育児をしている家庭もあったが、警察組織としてしっかりとサポートしていると感じた。県警では、このセミナーに限らず職員のためになる様々なセミナーを開催しており、引き続き、職員が働きやすい環境づくりを積極的に進めていただきたい」との発言があった。

委員から、「必要なときは遠慮なく休暇が取得できる環境を保持していただきたい」との発言があった。

(3) 令和4年「110番の日」広報行事の実施予定

生活安全部長から、令和4年1月10日(月)、伊予郡松前町内商業施設で行われる令和4年「110番の日」広報行事の実施予定(一日通信指令課長委嘱式、110番教室、書道パフォーマンス等)について報告があった。

委員から、「前回の行事は大街道で開催したと聞いたが、様々な場所で開催し、広く県民に訴えかけるのはよいことだと感じている」との発言があった。

委員から、「このような取組を継続して行うことに意義があると感じている。引き続き、県民に対する効果的な広報をしていただきたい」との発言があった。

委員から、「110番通報総受理件数のうち、非有効件数も多い。引き続き、イベント等を通じて、県民に対し110番の正しい利用を呼び掛けていただきたい」との発言があった。

- (4) 令和3年度愛媛県警察サイバーセキュリティユースコンテストの開催
生活安全部長から、12月13日(月)、拝命後4年以内の若手警察官等を対象に実施された令和3年度愛媛県警察サイバーセキュリティユースコンテストの開催結果について報告があった。

委員から、「技術を犯罪防止にも活かしていただきたい」との発言があった。

委員から、「このように技術を競い合うことは、技術の底上げを図る意味でも大事なことと考えている」との発言があった。

委員から、「この分野における技術の進化は目覚ましいものがあり、技術の保持、進展に向け頑張っていただきたい」との発言があった。

- (5) 令和4年交通重大事故抑止3か月対策の基本方針及び令和4年第1四半期の交通重大事故抑止3か月対策

交通部長から、令和4年の交通重大事故抑止3か月対策の基本方針(①生活圏を踏まえた地域ごとの交通事故分析、②対策重点(速度抑制・歩行者保護・被害軽減・プラスワン(交差点対策))、③県民の危機意識を醸成する交通取締情報の発信)及び令和4年第1四半期交通重大事故抑止3か月対策の実施(①生活圏を踏まえた事故分析、②推進要領)について報告があった。

委員から、「しっかりと分析がなされていると感じた。分析に基づく必要な対策を実施していただきたい」との発言があった。

委員から、「細かく分析されている。対策重点でも示されているが、速度抑制対策は重大事故防止に不可欠であり、効果的な広報及び取締りを実施していただきたい」との発言があった。

委員から、「交通重大事故の絶無に向け、引き続き各種対策を実施していただきたい」との発言があった。

(6) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

4 その他

本部長から、「サイバー技術に関する意識は、サイバー捜査のみならず通常の捜査においても当たり前求められる時代となっており、引き続き、幅広い捜査員における知識の向上に努めていきたい」、「委員説示のとおり、警察においても、各種の事案対応や職員の管理等で変化点を見極めることは重要である。警察では「兆」と呼称しており、様々な事案の前兆事案を見極めることが重要と認識している。例えば、ストーカー等の人身安全関連事案では、通常のストーカーか命に危害が加えられるものかを鋭敏に察知することが極めて重要であるし、また、職員の身上監督においても、職員一人一人が少しの変化を兆として鋭敏に感じ取ることが不祥事の防止には重要である。今後もそういった物事をしっかりと見極める力を涵養できるよう努めていきたい」、「正月を迎えるにあたり、“健やかに過ごされますよう”や“すがすがしい正月を…”という挨拶が使われることが多いが、今のポストに就いてから特に、健やかに、すがすがしい正月を迎えることのできるありがたさを実感するようになった。治安を守る警察としては、1人でも多くの県民が健やかで、すがすがしい正月を迎えることができるよう各種対策に取り組んでいきたい」との発言があった。

以上